

## 平成 26 年度事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

平成 26 年度は、朝日町制施行 60 周年の記念すべき年でありました。また、5 月には新町長体制がスタートし、朝日町シルバー人材センターも新たな気持ちで、町民のニーズに応えるための組織の充実や意識改革に努めてまいりました。

当シルバー人材センター創設 18 年間の実績を生かしながら、今後、高齢化する地域社会とどう関わっていくか 5 年間の将来展望とする中期計画を作成しました。

以下、当シルバー人材センターの平成 26 年度の主たる事業報告をいたします。受託事業では、「小さな仕事を大切に、誠実に実行」をモットーとして、就業機会の確保拡大に努めてきた結果、平成 26 年度契約金額は前年度比 3.9% 増の 49,335 千円となりました。

受託先別契約金額は、公共では前年度比 12.6% 増、民間事業所では前年度比 7.5% 増、一般家庭では前年度比 5.6% 減であります。これは、特に技術群の車両運転業務契約の切替えにより数百万円の減となるが、民間事業所からの草刈り、屋内外清掃業務等の増により最終的に契約金額は増となり、配分金額も前年度比 2.4% 増となっております。ちなみに、一般家庭の減額については、材料費の減が要因となっております。

受託件数は前年度比 11.9% 増の 2,031 件であります。

- ① 高齢者就業機会確保事業の地域ニーズ対応事業として認可を受け、新たに大平境地区、及びケアハウスを加え、笹川地区と合わせて 3 ヲ所を対象に週 1 回の移動販売を実施する。

この事業は高齢者の就業確保を第一目標としており、移動販売員をシルバー会員が就業し、地元の皆さんとも交流を図りながら、一人住まいの安否確認や刃物研ぎなどの受注拡大も行っている。補助期間は最大 3 年間とする。

- ② 普及啓発の取り組みでは、昨年に引き続き「シルバーの日」の 10 月 11 日、アスカショッピングセンター周辺の美化奉仕活動を行う。会員の約半数の 63 名が参加して行い、シルバーパワーを町民にアピールしました。

また、会員拡大を図るための啓発事業として、チラシによる公募内容を、具体的な職種と募集人数を掲載したところ、その一月で 13 人が説明会に参加し、内 9 人が会員申請をされました。

③ 安全・適正就業活動では、就業現場の事故防止のために、委員によるパトロールを不定期に実施した。一部の作業においてヘルメットが未着用であったため注意喚起する。その他の就業については良好でした。

就業に伴う傷害事故が1件、賠償事故が1件発生しましたが、一層気を引き締めて安全就業に取り組む必要があります。

また、年1回の安全健康教室はエアロビックダンスインストラクターによるストレッチ体操をくアゼリアホール>及びくサロンアイリス>の2か所で開催しました。

④ はつらつ健康サロン教室については、フラダンス教室を毎月2回、計12回開催し、延べ163人の参加者がありました。

⑤ 平成26年度より新たにスタートした有料職業紹介事業においては、飲料品配達の車両運転業務を請負い契約から、有料職業紹介事業に移行し有料事業契約富山県第1号となりました。

⑥ 中期計画の作成については、平成27年度より31年度までの5年間の目標数値を掲げ、併せて現状と課題を抽出し、それぞれの方向性を設定した。

平成28年度に創設20周年を迎えることを起点に、新生朝日町シルバー人材センターを期待する。